

令和3年

雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和3年12月9日～12月14日】

令和3年雲南市議会12月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/9(木) 9時30分～	17／藤原 信宏	一括	1～3	11	12/13(月) 9時30分～	4／上代 純子	一問一答	27～29
2		10／中林 孝	一問一答	3～5	12		7／宇都宮 晃	一問一答	29～32
3	12/9(木) 13時00分～	5／鶴原 能也	一問一答	5～8	13	12/13(月) 13時00分～	16／細田 実	一問一答	32～33
4		8／上代 和美	一問一答	8～11	14		12／中村 辰眞	一問一答	33～36
5		18／矢壁 正弘	一問一答	11～13	15		9／足立 昭二	一問一答	36～39
6	12/10(金) 9時30分～	11／松林 孝之	一問一答	13～16	16	12/14(火) 9時30分～	15／周藤 正志	一問一答	39～40
7		6／梶谷 佳平	一問一答	16～18	17				
8	12/10(金) 13時00分～	14／白築 俊幸	一問一答	18～19					
9		3／児玉 幸久	一問一答	19～23					
10		1／多賀 法華	一問一答	23～27					

令和3年雲南市議会 12月定例会 一般質問通告一覧表

令和3年12月2日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	藤原信宏 (一括)	1. コロナ禍での社会的孤独・孤立対策について 2. 学校教育問題について	<p>コロナ禍で自粛生活が長引き、孤独・孤立化の悪影響が懸念される。中高年以降では、心の不調から活動量が減って生活習慣病が進んだり、認知症リスクが高まって、生活の質が低下し、要介護状態や介護認定の増加に繋がっている。また、若い層では、閉塞感・孤独感から産後鬱など重度のうつ症状も多く、一方では、母子家庭などの新しい生活困難層が増えて、働く女性の自死が大きく増加した。</p> <p>地域には、若者から高齢者まで帰属先を失った人々の孤立が広がり、社会的孤独の問題は深刻である。</p> <p>(1) 仕事や人との繋がりを取り戻すため、支援を求める市民の統一的な市役所の悩み相談窓口はどこか。コロナ禍における社会的孤立防止のための相談支援、就労や居場所などを提供することで社会との繋がりを回復する「参加支援」の取り組みについて、乳幼児の親や母子家庭などの若い層に対する対策、並びに高齢者への対策に絞って伺う。</p> <p>(1) 不登校について。コロナ禍で、「不登校」が過去最多になった。様々な制約を受け、或いは目標を失って心身に不調をきたし、登校意欲を喪失して孤立を深め、学校に行けなくなった子どもが増えている。今こそ相談体制を拡充し、学校教育から誰ひとり置き去りにしない仕組みの構築が求められる。</p> <p>①まずは、不登校児童・生徒を出さないことだ。市の教育基本計画に「不登校対策ガイドラインの活用による未然防止、初期対応」とある。その取り組み概要について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>②不登校になった児童生徒の学校復帰や居場所の提供、支援方法の協議など、チーム支援や組織的な対応、またスクールカウンセラー等の充実配置、地域人材等、外部人材の活用について伺う。</p> <p>③教育支援センター（おんせんキャンパス）は、不登校の対応や学校への復帰に対し、どの様な役割を担っているか。その活用と成果について伺う。</p> <p>④不登校になった子のケアについて伺う。大人は原因を知って取り除こうとしがちだが、必要以上に問い詰めると却って悪化すると聞く。子どもの不安に寄り添い、今できることを一緒に考え、焦らずに取り組んで行く対応について伺う。</p> <p>⑤一定の要件を満たせば「出席扱いにする」など、不登校になっても本人や保護者が傷つくことなく、今を支える支援体制を充実する取り組みにあってはどうか。</p> <p>(2)いじめ対策について。いじめ問題は永遠の課題であり、その根絶は容易ではない。もはや「防止」などと生ぬるい取り組みではなく、「絶対禁止」、撲滅すると云った強い気概で臨まねばならない。</p> <p>①いじめが起きてしまった場合は、学校全体や教委、双方の保護者で情報を共有し、場合によっては、迅速に警察等外部機関との連携を強化して、効果的な組織的対応を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>②いじめは絶対に許されない行為と、児童生徒一人ひとりに徹底して意識させるよう、あらゆる機会を通じて社会性や規範意識、思いやりの心などを教え込むこと、いじめを許さない心の育成が大事である。いじめを出さない取り組み、指導をどの様に行っているか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 米価の下落対策 について	<p>③最近多くなった SNS 利用やネットいじめ対策について、教育長の考えを伺う。</p> <p>④いじめ相談は子どものためにある。子ども達の相談しやすい寄り添う手法で行われているか。</p> <p>(1) コロナ禍での米価の下落により減収となった、特に一定規模以上の主食用米の生産者に対して、ナラシ対策等も考慮しながら、経営を継続できる市独自の支援策を考えられないか。</p> <p>(2) 主食用米の生産量を抑えるため、飼料用米へ作付け転換する支援の拡充、また、在庫量を減らすため、飼料用米や加工用米等への転用を図る施策の充実を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 市内外食産業等と連携し、日本人の主食である米飯食の需要を喚起する活動が必要ではないか。</p> <p>(4) 政府が考える 15 万トンの特別枠の効果が不十分な場合は、更に責任を持って買い上げ、市場隔離する等の実効ある機動的な対策を追加実施するよう、国に働きかけるべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 同様に、需給生産調整を国が主導することの復活について、見解はどうか。</p>	
2	10	中 林 孝 (一問一答)	1. 令和 4 年度当初 予算について	<p>(1) 市長が優先する新規・拡充事業に対する枠を対前年比 10%増程度とする方針が示されている。具体的にどのような事業を想定しているか。</p> <p>(2) 前市長の判断により整備着手が保留された二つの大きな事業のうち、サッカー場の整備については未だ判断が示されていない。検討状況、判断方針、予算化の考えを伺う。</p> <p>(3) 現在、加茂交流センターが来春の竣工予定で工事が進められてい</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. キラキラ雲南に ついて	<p>る。一方、未整備の交流センターの地区住民からは早期の整備要望が上がっている。地域住民活動の拠点となる交流センターについて今後の整備方針、令和4年度の予算について伺う。</p> <p>(4)次年度は令和3年7月豪雨災害の復旧工事が本格化していく。復旧工事の大半は土木工事で建築工事はほとんどない。バランスの取れた公共工事が必要ではないか。</p> <p>(1)総務省が策定している「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」に基づき適正に管理されていたか。先の議会における答弁内容に訂正事項はないか。</p> <p>(2)先の議会での指摘事項に関し、監査委員は監査（随時監査等）を行ったか。その結果はどうだったか。</p> <p>(3)令和2年度決算の損益計算書で営業外収益として家賃収入が3千万円余、雑収入が4千2百万円余計上されている。家賃相当額と推察されるが、実態は何か。</p> <p>(4)同じく損益計算書の特別損失で維持管理繰入損が2千9百万円、貸借対照表で維持管理引当金が9千2百万円余計上されている。マルシェリーズの大規模修繕目的の積立と推察されるが、その理解でよいか。この会計処理はどのような契約、規定に従って処理されたか、決算の明瞭性、継続性は担保されるか。</p> <p>(5)マルシェリーズのテナントが支払う家賃相当額がキラキラ雲南の営業外収益として計上されている。本来、家賃相当額は市が收受すべきではないか。結果として、本市に損失を生じさせていないか。また、そうしたことは議会に報告、議決する必要はなかったか。</p> <p>(6)教育部長が本来の業務とは異次元の菓子店経営や不動産賃貸業</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 柳橋付近の安全 対策について	<p>の答弁しなければならないことに違和感を覚える。キラキラ雲南は、かなりの売上を小売業、不動産賃貸業に頼り、三セクに課された本来の役割としての公共性・公益性の高い事業会社とはいえなくなっている。また、こうした事業を行うことで将来の経営リスクも大きくなると考えられる。現状でよいか。</p> <p>(7)三セク運営に関する指針やポリシーは策定されているか。三セク運営に関する「見える化」が必要ではないか。</p> <p>(8)キラキラ雲南の抱える課題が見えにくくなっている。これはキラキラ雲南の問題ではなく三セクに関する本市の考え方の問題だ。現行のビジネスモデルをどう評価するか。</p> <p>(1)柳橋を利用し小中学校、高校に通学する児童生徒が多くいる。北詰西側の歩道部分が極端に狭くなっているため安全上の問題がある。現在、改良工事が進められているが、もう一步進んだ対策が必要ではないか。</p> <p>(2)柳橋北詰交差点を中心にして短距離区間に複数の交差点があり、かつ、道路が坂になっているため見通しが悪い。こうした現場状況に加え、横断歩道を表示する塗装のカスレがあり児童生徒の安全確保対策が急務だ。対策を伺う。</p> <p>(3)柳橋付近は市内でも有数の交通量があり、平日の朝夕は毎日渋滞が発生する。理由の一つに右折車線が整備されていないことがある。柳橋の複数車線化（右折車線の設置）、車道の改良や歩道の増設・拡幅等の抜本的な改良が必要だ。本市として国交省、島根県に対し柳橋付近の改良を強く要望すべきではないか。</p>	
3	5	鶴原能也	1. 令和3年7月豪	(1)令和3年7月豪雨は幸いにも人的被害はなかったが、家屋の被害	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	雨の災害対応と災害復旧について	<p>はもとより、道路や河川、農地、農業用施設などに甚大な被害が発生した。地球温暖化から今後とも今回のような災害が発生することが危惧されている。</p> <p>①この度の災害対応を振り返り、市としての災害対応をどう評価しているか、また反省すべき点について見解を伺う。</p> <p>②今回の豪雨災害で得た教訓や課題など、今後に生かす防災対策の取り組みをどのように考えているか伺う。</p> <p>(2)公共土木施設（道路・河川）の災害復旧について</p> <p>11月15日の第1回雲南市議会臨時会に本災害に対応するための復旧事業費が計上された。災害復旧は、基本的には公共的な施設について従前の機能を回復させるまでで、それ以上の機能の向上は基本的に災害復旧の範疇を外れるとされている。しかし、被災箇所は災害に弱いことから原形復旧のみでは、また同じような災害が発生するのではないかと心配する声を聞く。公共土木施設については、改良復旧事業制度も創設されていることから、原形復旧にあわせて、災害に強い施設への改修を含め事業を行うべきと考えるが、市長の災害復旧、改良復旧についての考えを伺う。</p> <p>(3)農地等の災害復旧に対する農家負担について</p> <p>7月豪雨に伴う農地・農業用施設災害復旧事業の農家自己負担にかかる支援策が示された。</p> <p>過去に例のない規模の災害となったことから「耕作放棄地の拡大や離農防止を図るため、特例的に支援を行う」としているが、何故、担い手農家が利用権設定している農地の災害だけ自己負担を免除するのか明確な理由を伺う。また災害復旧を利用した担い手農家へ誘</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 令和 3 年産米の価格下落対策、4 年産米主食用米の作付面積について</p> <p>3. 食の幸発信推進事業の中止について</p>	<p>導する内容と受け取られかねない表現になっていることについて市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 来年以降作付けが出来ない農家に対する所得補償など具体的な救済措置について市長の考えを伺う。</p> <p>人口減少や食生活の変化に加え、新型コロナウイルス禍による外食需要の落ち込みでコメの消費減に歯止めがかからず令和 3 年産米の J A 概算金も大きく低下した。先祖から引き継いだ田んぼを「荒らしてはいけないという気持ち」から赤字覚悟で米作りをしている農家も多い。このままでは耕作意欲を失い農業の継続を断念する農家が多くなることを心配する。雲南市として基幹産業である農業、農業の基本である米作りを守るため、どのように対応するのか市長の考えを伺う。また、農林水産省は主食用米の面積ベースで令和 3 年産実績から約 4 万²減らす必要がある見通しを示したが、市長の考えを伺う。</p> <p>雲南市の食の幸を活かした「販売・加工・交流」を推進する施設を整備する「食の幸発信推進事業」を中止する方針が示された。</p> <p>①「本市に体力があればリスクがあっても、本事業にチャレンジすることも考えた」とあるが、専門家との意見交換の中で、事業の目的、事業の採算性の担保（事業内容・事業主体・立地は適切か）などに問題があるとの指摘もあったが、本当に体力があればこの事業にチャレンジする考えであったのか伺う。</p> <p>②4 回にわたり食の幸発信推進事業について専門家との意見交換会が開催されたが、この意見交換会の感想と今回の結論を導き出すため参考となったのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 子どもが巻き込まれる事故防止について</p> <p>5. 中学校で発生した殺人事件について</p>	<p>③市民の皆さん、またこの施設の完成を期待されていた産直農家の皆さんに対する説明はいつ、どのように実施する考えか伺う。</p> <p>④テナント2社のこの事業に対する期待度は大変大きかったが、今後どのように期待に応じていく考えか伺う。</p> <p>⑤建設予定地の今後の利用計画等はあるのか伺う。</p> <p>11月4日に岡山県総社市で幼稚園に登園中だった女兒2人と保護者の2人が、青信号で横断歩道を渡っていた際に乗用車にはねられ、2人が意識不明の重体、2人が重軽傷を負った。</p> <p>6月末には千葉県で飲酒運転のトラックが小学生の下校中の列に突っ込み、5人が死傷した事故は記憶に新しい。</p> <p>子どもが巻き込まれる同様の事故は後を絶たないことから、「危険な場所の洗い出しや、路面の色づけによるドライバーへの注意喚起など」の対策が進む地域もあるが、このような事故に対する雲南市としての具体的な対応を伺う。</p> <p>愛知県内の中学校の校舎内で、中学3年生の男子が同学年の生徒に刺され死亡するという耳を疑うような大変ショッキングな事件が発生した。逮捕された少年の祖父の「孫の変化に気付いてやれなかった」という言葉は、同じ中学生の孫を持つ私には他人事と思えなかった。</p> <p>今回の事件を踏まえ雲南市としてどのような対応をとられたのか伺う。</p>	
4	8	上代和美 (一問一答)	1. 7月豪雨に伴う農地災害支援について	(1)7月豪雨災害は、災害救助法の適用や激甚災害の指定を受けるなど過去に例のない規模の災害となったことから特例的に支援を行うことになるが、農地の災害復旧事業に係る農家の自己負担の軽減策	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 生活困窮者に対する灯油購入費等助成について</p> <p>3. 原発問題について</p>	<p>が経営規模や経営形態によって軽減率が違っている。支援の目的を「本市の主要な農業の担い手である担い手農家の農業経営の維持安定や規模拡大を図るとともに、小規模農家の耕作放棄地の拡大、離農や転出等の防止をはかる」とするならば、軽減率を同じにすべきであるが見解を伺う。</p> <p>(2) コロナ禍における米価暴落、毎年のように多くなるイノシシ被害、そして、今回の豪雨災害での被災と経営規模にかかわらず農業経営は非常に厳しい状況にある。中山間地域の再生、世界的な食糧危機に備えて食料自給率の向上をめざすうえでも、持続可能な農業政策を進めるべきである。厳しい現状の中でも「農業をやりたい、続けたい」と意欲のあるあらゆる形態の経営体を対象に担い手と同じ軽減率での支援をすべきである。</p> <p>(1) 原油価格高騰により、ガソリンや灯油代が高騰し、関連して多くのものが値上げとなっている。一人暮らしの高齢者の中には「暖」を取ることを極力我慢しながら暮らしておられ、これから冬にむけて生活困窮者に対する灯油購入費助成などの支援策が求められている。総務省は11月12日、自治体を実施する生活困窮者の灯油購入費助成などに対して「特別交付税の措置を講じる」と表明している。国の財政支援で市として支援策を講じるべきである。</p> <p>(2) 鳥取県は11月17日の予算説明で、燃油高騰対策として低所得者の灯油購入費等の助成を行う市町村に補助金を交付すると発表された。市としても県へ要望するとともに、たとえ県の支援がなくとも、独自に支援策を講じるべきであるが見解を伺う。</p> <p>(1) 市長は、今定例会の市長施政方針で、東日本大震災で被災された</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			て	<p>福島県富岡町などを視察した感想を「放置されて荒れ果てた家屋や農地を見たり、親戚が帰ってこないことを嘆く住民の声をお聞きすると、改めて原子力災害は起こしてはならないと痛感した」とのべられた。しかし、原子力規制委員会は、「規制基準を満たすこと自体が安全を保証するものではない」「安全対策をしても事故は起こりえる」「万が一はあり得る。だから防災避難計画は必要である」と主張し、事故の可能性を否定していない。原子力災害を起こさないための最大の保証は再稼働をさせない事ではないのか。市長の見解を求める。</p> <p>(2) 島根原発 2 号機は、プルサーマル発電にするとの発言が中電よりされている。ウランとプルトニウムを混合した燃料を燃やすとなれば、大変危険な運転となる。原発事故を起こした福島第一原発と島根 2 号機は同じ沸騰水型原子炉であり、福島第一原発の 3 号機はプルサーマル運転を行っていた。いまだに事故原因が究明されていない現状があり、市民の安心、安全を最重点にするならば再稼働させてはならない。市長の見解を求める。</p> <p>(3) 政府は「脱炭素」を口実に、原発頼みのエネルギー政策を加速させようとしているが、原子力 0%でも、電力消費削減と再エネ電力の普及で二酸化炭素削減の 2030 年目標を様々な団体が提起している。世界ではグローバル企業を中心に、事業の 100%を再エネで行うという「RE100」の運動が広がっており、日本企業も参加し始めている。原子力で作った電力を使った製品は世界市場で争うことも、輸出することもできなくなり、経済の面からも立ち行かなくなる。将来を見据えたとき、増え続ける核のゴミで数万年先まで環境を脅</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>かし続ける原発ではなく、再エネを大きく普及することに舵を切るべきである。市長の見解を伺う。</p> <p>(4)島根原発 2 号機の再稼働は将来世代にも影響を及ぼす重大な問題である。性急な結論を出すのではなく、さらに、様々な形で市民の声をしっかり聴くべきである。</p>	
5	18	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 農林業対策について	<p>(1)農業対策について</p> <p>①市内では、小農（家族農業）が多数ある。近年、米価の下落等や農業機械の更新を機会に離農される方が多く見受けられる。支援策はないのか伺う。</p> <p>②今回の 7 月豪雨に際しての被災者支援についても、負担金等で個人での農業を営んでいる方への支援が手薄と考えるが見解を伺う。</p> <p>③集落営農組織の多くが発足から 10 年以上がたち高齢化が進んでいる。小農での経営が減少する中、営農組織の役割は大きい。地域農業の持続的な発展に向け一層の後押しをすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>④農水省は 2022 年度、集落営農組織の広域化や人材確保に向けた支援事業（集落営農活性化プロジェクト推進事業）を新設する。JA や県、市町村などによるサポートの経費も支援するとしている。本市の取り組みについて伺う。</p> <p>⑤広島県では数戸の農家が農業生産で共同活動を行うグループ営農が広まっている。東広島市はこれに賛同し、農業機械の共同購入費等に補助を行っている。本市としても取り組んでみてはと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥本市における農地中間管理機構による農地集積の現状は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>⑦全国各地の農地情報をインターネットで確認できるシステム「全国農地ナビ」に基となる情報を2016年度以降に全く更新していない農業委員会・市町村の割合が4割に上り農地バンクなどへも影響が出ている。本市は更新しているのか。また、影響は出ていないか伺う。</p> <p>⑧農水省は2022年度、農地中間管理機構の機能・体制を強化し、農地バンクが遊休農地を借り受け、簡易に整備して担い手に集積・集約する制度を新設する。本市の取り組みを伺う。</p> <p>⑨石川県の農地バンクが基金の運用益を財源とする支援制度を設け耕作放棄地拡大の防止に向け実績を伸ばしている。本市も研究してみては。</p> <p>⑩食の幸発信推進事業が中止された。当初の計画では施設整備だけでなく農業の拠点施設としての役割も考えにあったが今後の考えを伺う。</p> <p>(2) 林業対策について</p> <p>①以前、森林環境譲与税の配分が、森林が多く存在する源流域より人口の多い都市部に多く不公平ではと質した。答弁では、森林事業に従事する人口を増すことで解消するとのことだったが現状を伺う。</p> <p>②現在、森林環境譲与税の事業としては森林の調査が中心となっているが、今後の用途についてはどのように考えているのか。</p> <p>③個人所有の森林で循環型林業を行う場合、経費がトントンならまだ良いが、手出しが必要となるため実施できないと聞いた。譲与税を当てた支援ができないか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. コロナ対策について 3. 汚水処理施設整備構想について	<p>④ウッドショックにより国内産材の需要が高まっていると聞くが本市の状況を伺う。</p> <p>(1)国は5歳から11歳までのワクチン接種について検討している。保護者の間では身体への影響を考えワクチン接種に否定的な方が多い。本市としての考えは。</p> <p>(2)11月19日、政府の対策本部会議で、基本的対処方針が決定された。これに伴い、島根県は飲食の際の人数や利用時間についての制限を解除した。現在、都市部においては飲食に関して、入店時にワクチン接種証明の提示を求める動きがある。コロナ拡大の予防策としては有効と考えるが、差別にもつながりかねない面もある。本市として飲食事業者への指導はどのように行うのか伺う。</p> <p>(3)受験シーズンを迎えるが、接種を受けた受験生、受けていない受験生への対応はどのように考えているのか。</p> <p>平成30年度に雲南市汚水処理施設整備構想が策定された。その後、各集落排水の改修・統合が実施されている。</p> <p>(1)大東町は連担地を除き合併処理浄化槽が整備されていて、耐用年数が30年から50年程度とされている。しかし、これ以上経過した合併浄化槽が多くあり修理を要するものもある。現在の浄化槽の修理件数、修理費用額はどの程度あるのか伺う。</p> <p>(2)大東町の下水道の面的整備は、令和13年度からとなっているが、浄化槽の老朽化を考えれば早期の整備が必要と考えるが見解を伺う。</p>	
6	11	松林孝之 (一問一答)	1. 農業振興について	(1)平成26年度から計画が進められてきた「食の幸発信推進事業」は、新型コロナウイルスの蔓延や今夏の7月豪雨を鑑み中止が決定	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. マイナンバーカードについて</p> <p>3. デジタル化の推進と電子通貨によ</p>	<p>された。</p> <p>①事業中止が農業振興全般に与える影響をどう考えるか。</p> <p>②市長は就任時に兼業農家の経営基盤強化策として、物流改革等で収益性の向上に取り組むとされたが検討状況は。</p> <p>③コロナにより人流が変わり、災害により生産状況が変わった。農業の存続と国土保全は表裏一体であり、今こそ具体方針を示さなければならないが市長の所見を伺う。</p> <p>(1)マイナンバーカードは平成 27 年から導入され、国は先般の補正予算において令和 4 年度末までに全国民が取得することを目指し市町村の体制整備等に 1,001 億円を計上した。</p> <p>①現在、コンビニ端末による住民票発行や印鑑証明取得、健康保険証としての活用等広がりつつあるが、今後マイナンバーカードを活用して提供されるサービスは。</p> <p>②本市は県内 8 市で最低の取得状況であるが、要因は何か。</p> <p>③本年 10 月より健康保険証として医療機関や薬局での利用可能となったが、市内では医療機関 2 件・薬局 4 店(11 月 21 日現在)と少ない。他自治体の公立病院は概ね利用可能となっている上、民間においても導入が増えていることから、積極的に増やす施策を取るべきでは。</p> <p>④松江市は「イオン松江店」に申請窓口を設置し取得率向上に努めている。本市でも中活事業の拠点であるコトリエットやマルシェリーズ等で同様のサービスを行ってはどうか。</p> <p>(1)政府が進めるデジタル化は、合理的且つ効率的に市民生活の利便性向上を図ることが目的であり「普段の生活の中でデジタルがスタ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			る地域経済活性化 について	<p>ンダードになる社会の形成」と考える。</p> <p>①「デジタルは難しい」と感じる方も少なくないが、身の回りにあふれているのも事実である。「デジタルは既に身近にあるモノ」との認知が重要と考えるが所見を伺う。</p> <p>(2)アフターコロナの経済の活性化、地域内経済循環のためにも、身近にデジタルを感じ、持ち歩き、利用するためにスマートフォンを利用した電子地域通貨事業を提案する。</p> <p>①岐阜県飛騨市、高山市、白川村では2017年から電子地域通貨が商用開始され、町中のほぼ100%の店舗が加盟し、商工会、金融機関、行政の三者連携により導入コストの軽減を図り、小規模事業者や市民に寄り添った事業が実現されている。本市の企業チャレンジの一環として地元金融機関にも働きかけ、導入を調査研究してはどうか。</p> <p>②市長は県立中央病院でのキャリアにおいて健康や医療分野に精通されていると認識している。健康増進、医療費抑制の観点から「健康づくりポイント」として見える化し、地域内消費に結びける事業を構築してはどうか。</p> <p>③健康ポイントとともに地域ボランティア活動(通学時の見守り事業、地区内の環境美化活動等)をポイント化することで、地域福祉が経済に結びつくサイクルが実現できる。更に公共料金の支払いや市有施設の使用料、視点を変えてふるさと納税の返礼品としてポイントを発行し、本市を訪れて頂く交流人口拡大事業等、デジタル化した地域通貨は域内経済循環に無限の可能性をもたらすと考える。他市が展開していないオリジナル事業として打ち出してはどうか。</p> <p>(3)デジタル化は誰も取り残さない社会の実現として必要不可欠で</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				あり、市民生活への導入を先延ばしすることは自治体の衰退にも繋がりがねない。まさに今、自治体 DX（デジタルトランスフォーメーション）と共に市民が参加し、協働で創り上げるデジタル化こそ未来を切り開く一步と考えるが見解を伺う。	
7	6	梶谷佳平 (一問一答)	1. コロナ禍における市内企業の支援について 2. 除雪について	<p>コロナも 1~2 年で収束し経済も復活すると思われた中、第六波の感染が懸念され、加えて海外では新たな変異株が発見され入国ストップの措置が取られ始めている。</p> <p>この事から、引続き経済に悪影響が懸念され、コロナ禍で事業継続を図るため運転資金は”セーフティネット”対応で無利息・低金利の貸付が行われ、多くの企業は一時的には事業継続が図れ感謝されていますが、借入金はいくらまでも借り入れでありやがて返済が始まる。</p> <p>コロナ禍で事業者に対して行った、緊急貸付金の返済がすでに始まった事業者やこれから始まる事業者もある。これらの事業者はコロナの終息を見越した返済猶予期間を設けていると思われるが、ここに来て未だコロナ禍の収束が見えず、経済の復活も見えず返済の目途が立っていない事業者もある。</p> <p>(1)この返済関係について事業者支援の立場から、市として国・県・金融機関への対応を伺う。</p> <p>(2)経済活動が回復した後、事業者の人手不足への支援について市の考えを伺う。</p> <p>(3)雲南市のHPで、市内事業者の求人情報提供について市の考えを伺う。</p> <p>除雪ボランティアは、各地域自主組織が自助・共助の観点から応</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 定住支援への対応について	<p>募し、雲南市が研修を実施し除雪機械を貸与している。</p> <p>除雪ボランティアは、幼小中学校の子どもたちの通学路などの除雪を行っている。しかし、機械台数がボランティアの数や組織数に対して不足している。</p> <p>(1) 共助の足並みが揃いつつある今、公助の市として除雪機械の計画的配置をどう考えるのか、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 除雪機械のメンテナンス費・ボランティアへの時給アップについて、市の考えを伺う。</p> <p>11月26日の全員協議会において、雲南市は人口流出を食い止め人口増加を図るため、あらゆる支援を行う計画との事であった。</p> <p>子育て世代の流出は減少傾向にあるが、若者の流出は止まらない。</p> <p>若者や子育て世代の流出を食い止め、いかに転入者を増やすかが課題だと思うが、その対策として、「人口増加に向けた住宅支援」と「定住政策と子育て支援」について伺う。</p> <p>(1) 人口増加に向けた住宅支援について</p> <p>①雲南市営住宅家賃について、老朽化した案件でも他市町の家賃と同等又は高いとの声があるが、家賃の変更について市の考えを伺う。</p> <p>②雲南市営住宅で「住宅内のカビで困っている。」「除湿対策を行わないと住めない。」との声がある。これらの苦情に対する窓口の設置・対応について市の考えを伺う。</p> <p>③子育て世帯・2世帯・3世帯同居住宅の新築・リフォームに要する費用への補助金、空き家バンクの片付け費用の増額について市の考えを伺う。</p> <p>(2) 定住政策と子育て支援について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>①出産祝い金の創設について、市の考えを伺う。</p> <p>②二人目以降の子どもの保育料無料化や預かり時間の延長について、市の対応を伺う。</p> <p>③土日・祝日・年末年始等、保護者の休日勤務に係る保育支援について、市の対応を伺う。</p> <p>④地域の宝である子どもを守るため、通学用スクールバスに全ての子どもを乗せる運用拡大について、市の考えを伺う。</p> <p>⑤他市町との差別化のため、高校3年生までの医療費無料化実施について、市の考えを伺う。</p>	
8	14	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 地域農業の振興 について	<p>(1) 中山間地域の農地、特に水田は生産基盤であると同時に、地域政策としても重要な意味を有していると思う。本市の水田の平均経営面積は約 77 a 程度と小規模経営が多いが、市政及び農業振興上、どう位置づけているのか。</p> <p>(2) こうした小規模農家の支援策としては、これまで個別支援ではなく、共同による規模拡大やコスト削減による生産性向上を目的として、様々な施策により集落営農が推進され、現在では、その進化形態である農業法人も数多く設立されている。法人と集落営農等、任意組織との差異はどの様に考えているのか。</p> <p>(3) 国・県の農業施策は、現在、農地の流動化が前提となっており、農業法人化することが事業の優先採択の条件となっているが、市も最終目標は法人化なのか。</p> <p>(4) 農業生産の縮小や産地の衰退の中で県の調査によると、中山間地域を中心に県内農業集落の 1/3 を超える 1,100 の集落で担い手不在であり、その内、本市においては 68 の集落が該当するとのこと</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 治山事業の推進 について</p> <p>3. 「掛合の里」及 び周辺施設につい て</p>	<p>ある。県においては、令和6年度を目標とする農林水産基本計画の 基に、この1/4を解消しようと、補助スキームを作って多様な担い 手の育成により、不在集落を解消しようとされているが、市の考え はどうか。</p> <p>(1)7月の豪雨災害では、谷間の溪流等からの土石流により、信じら れないような岩石、流木が流され、農地等に甚大な被害が発生した。 これらの被害は、予防治山が実施されていれば防げたと言えるか。</p> <p>(2)流された流木には、切捨て間伐と思われるものも多く、被害を大 きくした面もあったと思う。森林整備も必要であり、切捨てもやむ を得ないと思うが、今回の被災に際しどう思うか。</p> <p>(3)治山は県事業であり、国土強靱化と銘打った予算が大幅に拡大さ れた時期があったが、本市から治山関係の要望はされたのか。又そ れに対する採択はどうであったのか。</p> <p>(4)この度の被災状況を鑑み、今後の治山事業に対する市の考えを伺 う。</p> <p>(1)レスト&ショップ掛合の里及び交流の館については、本年度、指 定管理の応募がなく、業務委託及び直営で運営されていたが、現状 はどうなっているのか。</p> <p>(2)上記2施設に、緑地公園及びグリーン掛合を含め、現在、一体的 な検討がされていると聞くが、どの様な方向で検討されているのか。</p> <p>(3)上記に関する今後のスケジュールを問う。</p>	
9	3	児玉幸久 (一問一答)	1. 今後の観光振興 について	<p>(1)新型コロナの影響と観光対策について 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国的に観光産業は大き な落ち込みが続いてきたが、第5波と呼ばれる状況も、最近になり</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>収束が見え、全国的に観光における動きが顕著に現れてきている。</p> <p>雲南市においても大きな影響があったが、10月下旬ごろから観光による人の流れが多くなってきていると感じている。来年の1月下旬にも国の「GO TO トラベル」も再開される見込みとなったことから、雲南市における観光の再興が期待される。そこで、新型コロナで落ち込んだ雲南市の観光振興に向けた市の考えを伺う。</p> <p>①新型コロナ感染拡大における市内の観光関連事業者への影響について、市はどう認識しているか伺う。</p> <p>②国の「GO TO トラベル」、県の「#WeLove 山陰キャンペーン」など、これまで実施されてきた宿泊・観光の需要回復に向けたキャンペーンの効果について、市はどう考えているか伺う。</p> <p>③雲南市の「うんなん泊まってお得キャンペーン」の状況と、その取り組みの効果に対する市の認識を伺う。</p> <p>④「うんなん泊まってお得キャンペーン」は、1月31日までだが、今後の観光消費拡大に向けて、市として新たな取り組みを行う予定があるか、市の見解を伺う。</p> <p>⑤再開が予定されている「GO TO トラベル」の事業終了の後半年は、その反動により観光需要が冷え込むのではないかという懸念の声もあるが、市はどのように認識しているのか、また、どのように対応していくか見解を伺う。</p> <p>(2)今後の観光振興に向けた戦略と推進体制について</p> <p>雲南市では、令和3年3月に、今後の市の観光振興に向けた「第2期雲南市観光振興計画」を策定している。この計画では、今後5年間の重点戦略と成果目標(KPI)、基本事業が示されているわけだが、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>この計画も踏まえ、今後の市の観光振興に向けた組織・体制のあり方、目標達成に向けた具体的な取り組みについて市の見解を伺う。</p> <p>①雲南省の観光振興を推進する中心的な役割を担う団体として「(一社)雲南省観光協会」が位置付けられている。観光協会の現在の会員数、事務局職員数は何人か。他市と比べて少なくないか、計画の推進にあたっては観光協会の機能強化(事務局職員数、人材、財源等)が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>②市から観光協会に出している補助金の中には、事務局職員の人件費、事業費に加え、地域団体等が開催する祭り・イベント等の助成金も含まれている。この助成金の交付に係る事務作業の負担も大きい。観光メニューの造成、情報発信等の観光協会としての本来の役割に専念出来るよう、この助成金については出し方を見直すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>③市長は以前、「今後は雲南省単独ではなく、広域連携による観光振興を中心に考えていく」と表明された。雲南省の観光を考えた場合、市内で完結する観光は少なく、松江市や出雲市等も加わる中海・宍道湖・大山圏域も含め周辺市町の観光地とセットとなった観光パターンが多いのは事実である。各市町にはそれぞれ観光協会、市町の担当課があり、更に雲南省圏域には雲南省広域連合もあるが、具体的にどのような組織・体制・枠組みで取り組んでいくのか市長の見解を伺う。</p> <p>④世界的に新型コロナ感染拡大が収束すれば、やがてインバウンドの観光も増えてくる。雲南省としてはどのように対応していくのか、また、どのような準備を行っていくのか市の見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 人口減少対策について	<p>⑤観光消費額を増大させ、経済波及効果を高めていくためには、市内での宿泊者数を増やしていくことが必要である。市では、清嵐荘の建替えを行い、また、中心市街地活性化事業においてビジネスホテルの誘致を進めてきたが、重要なのは宿泊施設を整備するだけでなく、いかに誘客をし、他の宿泊施設も含め市内全体としての宿泊者数を増やしていくかである。ビジネスホテルが完成した後の市の取り組みについて見解を伺う。</p> <p>⑥コロナ禍の中で、キャンプの人气が高まった。雲南市内も市が管理するキャンプ場が幾つかあるが、施設の老朽化が進んでいるところもある。高まったキャンプニーズに対応するため、施設修繕も含め、市としてどのような誘客への取り組みを行っていくか見解を伺う。</p> <p>(1)人口減少対策の現状について 市長は3月定例会の所信表明で、人口減少対策は雲南市が抱える重大な課題であり、全力で取り組んでいく旨を、6月定例会においては、その具体的な対策として「移住・定住の更なる推進」、「地域経済の維持・活性化」、「地域の特色を生かした地域づくりの推進」の3つを重点的に進める考えであると述べられているが、その取り組みの現状について伺う。</p> <p>①現時点での今年度の転入・転出の実態はどうなっているか、特に、20代～30代の若者世代の状況について伺う。</p> <p>②子育て世帯の宅地購入への補助金は、大変需要があり、6月に補正をかけ増額しているが、申込の現状について伺う。</p> <p>(2)今後の人口減少対策について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>先般、案として示された「過疎地域持続的発展計画（案）」においては、人口動態の現状を踏まえた令和7年の目標人口が設定されている。来年度から3年間、対策を強化するものとし、具体的な対策については来年度予算案に併せ2月に説明するとのことではあったが、今後の人口減少対策について現時点での市の考えを伺う。</p> <p>①「過疎地域持続的発展計画（案）」で設定されている人口の目標値について、かなり現状を踏まえた数字とはなっているが、これでも非常に高い目標値だと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>②人口減少対策は、結婚から出産、育児、就職に至るまで、切れ目のない支援が必要であるが、今後、3年間で計画に掲げた目標を達成するためには、より効果の高い支援策に重点をおいた取組みの実施が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>③市内に移住したいが宅地がないという話を多く聞く。「そらやま住宅団地」の分譲が開始されているが、現在、「立地適正化計画」が策定中ということもあり、他の住宅団地の開発計画が保留の状況となっている。「立地適正化計画」との整合性を図る必要はあるが、住宅団地の開発計画がある区域は「居住誘導区域」に組み込むことを前提に、事業を進めるべきではないか。また、都市計画区域外、特に、人口減少が進んでいる周辺部においても、小規模な団地開発を進め、政策的に移住を進めていく必要もあると考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>④最後に、人口減少対策の強力な取組みの展開について、市長の決意の程を伺う。</p>	
10	1	多賀法華 (一問一答)	1. 外で遊べる環境 作りについて	(1) 昨年の12月定例会で、2番議員より、遊具についての一般質問があった。また、2017年に、雲南市が主催したUNNAN子育て広	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 原子力災害対策 について	<p>援会議で、「市民の声を行政に届けよう」との会があり、1番最初に市民の方から声があったのが「雲南市の公園を遊べる公園にして欲しい」との声だったと聞いている。遊具の修繕や更新についての現状について伺う。</p> <p>①2017年のUNNAN子育て応援会議の声を取り入れ、その頃から市内の遊具の調査を行っていると思うが、現在市内で市や県が管理するもののうち、どのくらいの遊具が使用不能で、撤去されないまま残っているのか。</p> <p>②そのうち現在までで修繕、撤去、更新が実施されたり、検討されたりしたところはどこか。</p> <p>③令和元年度の12月定例会の子ども政策局局長の答弁で「市内には、都市公園で大東公園、加茂中公園等6カ所があり、農村公園は21カ所、市民広場として11カ所の施設があり、保育所などから市内の遊び場の情報を集めたうなんわくわくあそびマップ等も製作しております」とあった。うなんわくわくあそびマップは現在どのように活用されているか。</p> <p>(1)今回の7月豪雨で、災害をきちんと自分事にすることが大切と学んだ。雲南市広域避難計画について伺う。</p> <p>①国際基準をもとに、島根原子力発電所から概ね30km圏内の方のみ避難計画が策定されている。だが、30km圏外も風向きによってはどうなるか分からない。国の回答としては、30km圏外は、時間的に余裕があるため、あらかじめ計画する必要はないとされている。実際そうした柔軟な対応ができるのか。今回の災害でも人員不足を感じる場面があり、市の職員の方にかなり負担があった。慌ててする</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ようになるくらいなら、予めもしもの時に備えて考えておく必要があるかと思うがいかがか。</p> <p>②7月豪雨では、道路や水などの情報が届かなくて不安だったという声がたくさんあった。原発の事故があった際に、まずは「警戒事態」。事態が進展してしまうと次に「施設敷地緊急事態」。更に事態が進展すると「全面緊急事態」となる。その場合、雲南市の対象の方は、まずは、屋内退避となる。屋内退避になったら、不安感を与えないために状況に変化がなくても、何時間毎に指示や情報を出すマニュアルにされたいがいかがか。</p> <p>③今回の7月豪雨の際に反省点も多く、まだ振り返りや計画の練り直しが不十分と思われる。雲南市広域避難計画と雲南市地域防災計画はセットのものであると思う。原子力災害対策を説明する前に、本来は雲南市地域防災計画の見直しをすることが優先であると思うが、いかがか。</p> <p>④自家用車での避難は、避難行動要支援者の避難支援に配慮し、渋滞をさけるため、自治体や自主組織などで可能な限り乗り合わせで避難することを原則とするとあり、綿密な計画や地域の理解が必要だ。また、一時集結所に集まる状況では避難者名簿の作成や、バスの乗車人員のふりわけなど市職員だけでは出来ないと思う。避難所はできるだけ早期に地域自主組織などを中心とした自主運営体制へ移行とあり、かなり綿密な計画がいるであろう避難方法をどのように周知したり、計画をたてたりする予定か。</p> <p>(2)2011年の原発事故後からずっと取材を続けておられる方や福島の方の農民連の方に電話で現状を聞かせていただいた。聞かせてもらう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>と、避難区域外の方のことや避難解除になった後のことが非常に心配になった。</p> <p>雲南市も、帰還困難、居住制限などになる可能性のある自治体である。もし事故があった時、その後の支援が不安である。被災者の生活が守られない可能性がある。7月豪雨の際も、部署を超えて、支援策を一覧にまとめてもらって非常に分かりやすかった。原発事故のあった際には、普通の災害とは違った課題が発生したり、支援が必要になったりすると思う。</p> <p>①原発における避難区域外の地域や避難解除後に、どんな課題が考えられて、それに対してどのように対応をするのか国や県と相談し、しっかりと文書でかわしておく必要があると思うがいかがか。</p> <p>②住民の方が、もしものことが起こった時にと、自分ごととして感じられるように、部署をこえた横串をさした情報を提供していく必要がある。万が一起こった時に、自治体独自の支援策も必要と感じる。一覧にまとめておくと分かりやすく、他にも事前にこういうことはどうしたら良いかなど質問や判断しやすいと思うがいかがか。</p> <p>(3)茨城県東海村にある東海第二原子力発電所については、住民が安全対策に問題があるなどと訴えていた裁判で、水戸地方裁判所は避難計画やそれを実行する体制が整えられていないとして、事業者の日本原子力発電に再稼働を認めない判決を言い渡した。避難計画で「実現可能な避難計画が策定され、実行できる体制が整っていなければ重大事故に対する防護レベルが達成されているとは言えない」と指摘している。</p> <p>①島根県は唯一県庁が10 km圏内にある地域である。事故のことを考</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>えると原発の稼働は選択肢として本当に大丈夫なのか。</p> <p>②温暖化や冬の厳しい寒さなど温度変化が激しくなっていたり、これから、脱炭素で化石燃料を中止していかなければならなかったり、電動自動車への移行もする必要があるとすると、原子力発電の必要性はあるかもしれない。仮に稼働するとしても、必ずいつまでには稼働をやめるといった取り決めも必要と思われるがいかがか。</p>	
11	4	上代純子 (一問一答)	1.7月豪雨災害の 復旧・復興について	<p>(1)9月の一般質問において、三谷川樋門周辺部での冠水、排水ポンプの処理能力などについて島根県とともに検証するとの答弁であったが、その後の検証状況はいかがか。</p> <p>(2)三刀屋川の急激な河川の上昇を抑えるための対策として、島根県では、今回の浸水被害を受けて三刀屋川下流部で河川内の堆積土の撤去を検討されており、これによって三刀屋川全体の流下能力が向上し、上流域の水位上昇が抑制されることに期待しているとの答弁であった。その後の進捗状況はいかがか。</p> <p>(3)三谷川樋門より上流になるが、昔のせせらぎ広場やボート場があった場所も砂が堆積しているように見受けられるが、出水時の水位に影響はないのか。影響があるとする場合は、今後はどのような対策を講じられるのか。</p> <p>(4)令和3年7月12日に三刀屋町の地王や旭町付近が冠水し、国道54号も冠水した。今回、道路が冠水している状況において、車の往来があったことから波が立ち、家屋や民地などにさらに被害があったのではないかと想像する。今回のように道路に冠水が確認された場合には、国道54号や主要地方道稗原木次線、市道南通り線などの通行止めの必要があったのではないかと考える。この経験を踏まえ、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 除雪体制について	<p>今後の対応や対策はいかがか。</p> <p>(5) 災害復旧工事を担う建設業者の中には建築部門をもっている事業者もある。災害復興工事と普通建設工事の建築部門とバランスのとれた工事発注をしていただきたいかがか。</p> <p>(6) 被災された市民の皆さまには、不安やストレスを抱えていらっしゃる方がいると感じる。そうした市民の皆さまに対しては、専門家による心のケアが必要ではないかと考える。豪雨災害と直接関連はないが、先般厚生労働省は新型コロナウイルスの影響による収入減や長引く自粛による不安解消に対応する「心のケア」に関わる人材育成事業を始めたと聞く。専門知識を持った人材を育てて、相談体制の充実につなげる対策と思うが、大変重要で市民にとっても必要な取り組みだと思う。そこで、新型コロナウイルスの影響だけではなく、今回の豪雨災害においても、市民の心の不安を取り除くために、雲南市ではこうした取り組みをどのように捉え、対応していくのか伺う。</p> <p>(1) 昨年末から年始にかけて大雪となり、この影響で県道吉田三刀屋線において、三刀屋地区の流雪溝に一斉に投雪があったために、流雪溝が詰まるといった事態が発生した。令和3年3月の一般質問では、今後地域自主組織と流雪溝の管理について協議をするとの答弁であったが、その後どのような状況となっているのか伺う。</p> <p>(2) 除雪作業をするオペレーター不足は深刻で、オペレーター確保のための市からの補助金があるものの、いまだ人材が不足していると聞く。また、事業者が所有する除雪機械の維持管理や更新が難しい状況とも聞く。人材確保と除雪機械の維持・更新について抜本的な</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. ヤングケアラー について	<p>解決策がないのか伺う。</p> <p>(3)一部の農業用トラクターの公道走行のためには大型特殊自動車第一種免許が必要となった。農業をされている皆さまもこの免許を取得された方がたくさんいらっしゃると思われる。例えば、こうした方々の力を借り、除雪作業の講習会などを行って、除雪対応の支援をいただくようなことは考えられないか伺う。</p> <p>(4)除雪委託費の増額や、市が除雪機械をリースしたりして事業者を支援できないか。また、除雪機械の移動に時間を費やすことを軽減するために複数の箇所には拠点を設け、所々に除雪機械を配置するなどの配慮が必要ではないかと感じるがいかがか伺う。</p> <p>(1)6月の一般質問において、雲南市におけるヤングケアラーの実態について質問をしたが、「県や国の調査もある中で、雲南市として児童・生徒やその家族と接する教職員、介護事業職員などにその存在を周知し、早期発見や実態把握に努めたい。」との答弁であったが、その後の状況はいかがか。</p> <p>(2)子どもたちは、多くの時間を教育の場である学校で過ごす。教職員の意識啓発、理解促進のための研修等の現状はいかがか。</p> <p>(3)今後、校内でヤングケアラーと思われる子どもの存在がわかった場合、情報共有体制の整備等について必要だと思うがいかがか伺う。</p> <p>(4)学校内に加えて、教育と福祉の連携のための「教育・福祉合同研修」も必要と考える。こうした研修の実施、促進をどう進められるか伺う。</p>	
12	7	宇都宮晃 (一問一答)	1. 尾原ダム事業について	(1)尾原ダムは、島根県百年の大計として、昭和32年から始まり、半世紀以上の歳月を経て、平成24年に竣工した。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>日本神話の中で、特別な舞台として登場する川、斐伊川（日本神話の中では簸川）。恵の川でもありましたが、怒り狂うと手の付けられない川で、良くも悪しくも、川沿いの人々の生殺与奪を握る川であった。</p> <p>昭和47年7月の梅雨前線豪雨は、松江市街を含む流域に甚大な被害をもたらした。奇しくもその大洪水から40年、ヤマタノオロチ退治の古事記編纂から1300年目だそうだ。総事業費1500億円余りを投じた尾原ダムは完成した。地権者の皆様をはじめ多くの関係者の皆様のご理解とご協力なしには出来えなかった巨大事業であった。</p> <p>①この尾原ダムは、竣工して来年で10年を迎える。ダムによって、下流域の水位が低下し、治水効果が現れているのか、逆に、環境や農業用水等へ悪影響を及ぼすようなことはないのか、また、近年ダムの貯水量が減っているようにも見えるが、現時点での尾原ダムの効果と弊害（洪水調整・不特定利水・上水道供給）についてどのように分析されているのか見解を伺う。</p> <p>②尾原ダムは単独では治水効果が十分とは言えない。上流域の尾原ダム、中流域の放水路、そして大橋川の改修、この3点セットで初めて最大の効果を発揮すると考える。</p> <p>近年の地球温暖化による気候変動により大雨・洪水が毎年のように発生している。昨今では尾原ダムが最大限の効果を発揮するためには、下流域の治水事業が早期に完成されることが望まれる。雲南市として国、県、松江市をはじめ関係団体に下流域の事業が早期に完成できるよう働きかける必要があると考えるが、雲南市としてどのように取り組まれるのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 2021 年度全国学力・学習状況調査について</p> <p>3. 小・中学校での</p>	<p>③尾原ダム完成に伴い「島根県さくらおろち湖自転車競技場施設」、道の駅「おろちの里」、「島根県さくらおろち湖ボート競技施設」ができ、これらを足がかりに集客などで地域の宝にすることが求められている。尾原ダム事業のため、多くの住民の方々が生活の糧とされた貴重な財産と思い出を水没させて移転された方々の話を伺うと、自分が生まれ育ち、長年暮らしたふるさとがどうなるのか、昔と変わらず活気のあるふるさとであってほしいと願っておられる。また、地元に残された方々も同じような思いで地域活性化に取り組みをされておられる。ダム完成から来年で 10 年を迎えるにあたり、ダム湖およびダム周辺地域の評価と今後の方針について見解を伺う。</p> <p>④来年は尾原ダム完成から 10 年の節目にあたる年。将来に向けて希望の持てる記念式典を催されることを期待致するが如何か。</p> <p>文部科学省が小学 6 年と中学 3 年の全員を対象に実施した 2021 年度全国学力・学習状況調査の結果によると、雲南市は全教科で全国平均を下回った。低迷する雲南市の算数・数学は共に 4.2 ポイント全国平均よりも低く、小学生の段階で算数好きの子どもを増やす努力、有効な手立てを見いだすことが必要と思われる。一方、地域社会に関する設問の一つ、「今住んでいる地域の行事に参加している」という設問では、雲南市の小学 6 年、中学 3 年共に島根県平均、全国平均を大きく上回り、地域とのつながりが強いようである。データ分析をされて、どのような見解を持たれるのか伺う。</p> <p>小・中学校における児童・生徒へのハラスメントに対する市として</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			ハラスメントについて	の認識と対策を伺う。	
13	16	細 田 実 (一問一答)	1. 島根原子力発電所について 2. 農業振興について	(1) 市長が東日本大震災で被災した福島県富岡町を訪問されたことについて ①原発事故による放射能汚染から10年、住民帰還、産業などの状況はどうであったか。 ②事故を起こしてはならないとの認識は共通のものだが、現在の原発は事故は起こりえるとの認識に立っていることについてどう考えるか。 (2) 島根原子力発電所に関する住民説明会では再稼働に不安の声が多く出されているが住民の不安にどう応えていくか。 (3) 原発再稼働は原発依存を継続し、再生可能エネルギーの推進を遅らせるのではないか。 (4) 避難計画は実効性あるとは思えない。要支援者、子どもの避難などに多くの不安の声があるがどう対処するか。 (5) 避難計画では原発から5キロメートルから30キロメートル圏の住民は事故後屋内退避とされているが非現実的ではないか。これは被爆計画ではないか。 (6) 避難は移転であり、移転が長く続くことになる。住民説明会は中国電力や国の再稼働ありきの説明となっている。住民議論を深める事が必要ではないか。 (7) まずは、立地自治体と同等の安全協定の取り組みが必要ではないのか。 (1) 食の幸推進事業について、大規模なハード整備は実施せずソフト	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			て 3. スポーツ、文化 の振興について 4. 教育について	事業に切り替えて推進するとの方針が示された。新たな推進策計画づくりなどはどのように進めるのか。 (1) コロナ、災害により地域の活力が失われている。こうした時にこそスポーツ・文化の重要性があるのではないか。市長は、スポーツ・文化活動の振興を表明されているが、今後の取り組みについて伺う。 (1) 教育支援コーディネーター、地域支援コーディネーターのあり方についての検討状況について伺う。若者定住には教育の充実が必要と思うが雲南市が取り組んできた特色ある教育の後退があってはならないと考えるがどうか。	
14	12	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 勝手橋について 2. 環境施策に関して	設置されてからかなりの年月が経ち、設置者がわからず管理者の不明な橋、いわゆる「勝手橋」が補修や点検をされないまま放置され全国的に問題化している。 (1) 本市においても、合併以前の旧町村時代にかけてられたものが多く現存している。合併前後に関わらず、市内に何基の勝手橋があるのか伺う。 (2) 今夏の災害において流出または損壊し使用不能となった「勝手橋」の基数を伺う。 (3) 設置者や管理者が不明な「勝手橋」だが、市民の生活の中に溶け込んでいるものが多い。以前架け替えの相談を頂いた。河川に対する一般的な考え方を伺う。 本市では、環境基本条例を制定、第2次雲南市環境基本計画を策定し、環境に対する取り組みの明確化が図られていると考える。 (1) 30・10 運動について ① 新型コロナウイルス感染拡大が縮小化の傾向にあり、島根県とし	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>でも飲食に対する人数制限が緩和された。時は忘年会の時期となり感染防止に気をつけながらも開催される事もあると考える。同時に食品ロスに対する意識もしっかり持っていただきたいと思う。市長の食品ロス撲滅に対する考えと本市の取り組みについて伺う。</p> <p>(2)粗大ごみについて</p> <p>①一般的な粗大ごみは、エネルギーセンターへ持ち込みをする事になっている。高齢化が進みかつ持ち込み手段の無い家庭が多く持ち込むことができない。県内他市の中には、有料ではあるが月1回程度、回収に来るところもある。本市の粗大ごみ回収の考えはないか伺う。</p> <p>②災害時に流出したと思われる立木等が県道沿いに集積したまま、置き去りにされている箇所がある。回収されていない理由を伺う。</p> <p>(3)不法投棄について</p> <p>①市内における不法投棄の現状を伺う。</p> <p>②不法投棄に対する取り組みはそれぞれの地域で行われている。対策をした箇所では不法投棄がなくなるが、場所を移動させて繰り返されているのが実態である。市としての対策を伺う。</p> <p>③雲南市ポイ捨て及び飼い犬等ふん害の防止に関する条例には、勧告、命令を経て過料を科すことが出来るとしてある。この条例が施行されてから今日までの過料処分の有無について伺う。</p> <p>④自動販売機の空き容器回収ボックスに指定されたもの以外が入られていることがある。自動販売機設置事業者の回収作業に大きな負担がかかっている。最近店内にごみ箱を設置するコンビニエンスストアが多くなってきたことも、同様の行為によるものが大きいと</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 通学路の安全確保について	<p>考えられる。指定外のごみを投入する事は不法投棄にあたるのではないかと思うが、市としてできる対策について伺う。</p> <p>(4)環境悪化の原因となりうる事項について</p> <p>①アスベストについて</p> <p>アスベストに関しては、築年数の古い構造物解体時に検出され適切に対応されてきていると理解している。処理費用が後付けで出されることがあり、解体工期にも影響を与えることもある。ある程度の建築年数の基準を決め、解体予算に処理費用を盛り込むことはできないか見解を伺う。</p> <p>②バイオマス残灰処理について</p> <p>ア) バイオマスの残灰は外部処理に出されているが、処理に係る年間の経費はいくらであるのか伺う。</p> <p>イ) 県内でも多くの自治体がバイオマスを利用している。同時に県外業者へ処理を委託しているのが現状と認識している。未来に向かって使い続けると想定すれば、輸送コスト、処理費も積み上がり続ける。脱炭素社会を目指す中、二酸化炭素の排出量削減に意識を置くと、県内で処理ができることが理想ではないかと考えるが、実現性を含めて見解を伺う。</p> <p>通学途中の児童生徒の列に車が突っ込み、死傷者が出るといった痛ましい事故が全国で頻発している。本市においても危険な通学路はあり、令和2年の調査で77箇所が示されている。</p> <p>その中で、県道271号樋上橋西詰の状況は、路面標示の塗り直しや防護柵の設置などが挙げられている。同地では下校時の見守りを「下熊谷くまっこ見守り隊」の皆さんにより行われている。現地で感じ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				る危険は、自動車の速度と運転モラルにあると感じている。速度の抑制と歩行者優先の一時停止を促す事も大事な取り組みと考えるが、見解を伺う。	
15	9	足立 昭二 (一問一答)	1. 島根原子力発電所 2 号機の再稼働について	<p>島根原子力発電所 2 号機は、原子力規制委員会において新規制基準への適合性審査に係る原子炉設置変更許可がなされた。これを受けて島根県と雲南市は 10 月 31 日、加茂町ラメールで「島根県原子力発電所に関する説明会」が行われた。雲南市独自としては 11 月 30 日から 12 月 7 日かけて市内 6 町で地区別住民説明会が実施される。</p> <p>11 月 24 日に開催された島根県原子力発電所周辺安全対策協議会終了後、丸山知事は「今後、島根県議会と関係自治体の意向を聞いた上で、島根原子力発電所 2 号機の再稼働の可否を判断する」と報道関係者に述べている。</p> <p>島根原子力発電所 2 号機の再稼働の可否の判断は、市政の当面する喫緊の課題だ。</p> <p>(1) 原発事故のリスクについて</p> <p>① 私は 9 月議会の一般質問で「福島原発事故の調査、視察に福島県に行くべきだ」と質し市長は「状況が許せば訪れたい」と答弁。10 月調査・視察に行かれた。施政方針で「改めて原子力災害を起こしてはならないものだと痛感した」と述べられた。今一度その所感を聞きたい。</p> <p>② 島根原子力発電所 2 号機は、原子力規制委員会において新規制基準への適合性審査に係る原子炉設置変更許可がなされたが、多くの問題点がある。私は特に新規制基準に新設された「テロ対策」についてどのように対応するのか問うてきた。今回の住民説明会でも同</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>じような問題点が指摘されたようだ。雲南市としてはどのような見解か問う。</p> <p>③島根原子力発電所 2 号機は、新規制基準に適合していると判断したが、即、再稼働してもよいということではないと認識しているがどうか問う。</p> <p>(2)住民避難計画の実効性について</p> <p>①原子力災害時の避難は、UPZ (5~30Km 圏) は屋内避難を行うとなっている。福島原発事故の時の状況からして、住民の皆さんは屋内に留まることなく、いち早く避難を開始されると思うが、どのような認識でいるのか、屋内退避できる体制はできるのか問う。</p> <p>②放射性物質が放出された場合は、放出後の放射線量の実測値に基づき、必要な地域は、1 日程度内の避難か 1 週間程度内に維持移転等行うとされる。</p> <p>ア) 移転後は広島県の避難先での避難生活を余儀なくされると思うがどのような見解か。</p> <p>イ) 雲南地域防災計画 (原子力災害対策編 P24) 長期化に備えた動員体制の整備 について「市は、国、県及び関係機関等と連携し、事態が長期化した場合に備え、職員の動員体制をあらかじめ整備しておくものとする」とある。現在の市役所職員体制で確保できるのか。職員の中には、家庭環境からして動員体制に入れない職員がいると思うがどのように考えているか。併せて先日の議員全員協議会で答弁された「自治体支援チーム」の内容について問う。</p> <p>ウ) 雲南地域防災計画 (原子力災害対策編 P21) 要配慮者等の避難誘導・移送体制等の整備 「(1) (2) (3)」の進捗状況を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. ジェンダー平等 政策について	<p>③今回説明されている「雲南市広域避難計画」は避難対策の実効性はないと思う。内閣府の資料「島根地域における原子力防災の取組について」の最後には「地域防災計画・避難計画の整備に『完璧』や『終わり』はなく、今後も訓練等を通じて、国と関係自治体が一体となって継続的に、避難計画の充実・強化に努めていく」とある。私も避難対策は常に充実・強化に努めていくことに異論はないが、再稼働の賛否が問われようとしているとき、こうした無責任な説明は理解できない。今現在の避難計画で稼働しても大丈夫か市長の見解を問う。</p> <p>(3)私は島根原子力発電所に関する説明を聞いてきたが、説明を受ければ受けるほど、また、雲南地域防災計画（原子力災害対策編）雲南市広域避難計画を読めば読むほど、2号機の再稼働は進めるべきでないと考える。市長は島根原子力発電所2号機の再稼働の可否について総合的に判断していく考えを述べられた。いつごろ判断されるのか問う。</p> <p>(1)10月に実施された衆議院選挙の重点政策、各政党とも「ジェンダー平等」を掲げ論戦が繰り広げられた。その背景には「ジェンダー・ギャップ指数2021」では156か国中日本は120位と世界最低レベルが続いていることも一つの要因と考える。</p> <p>雲南市でも「社会全体で取り組むべき最重要課題の一つ」として男女共同参画計画を策定して取り組まれている。現在の取組状況について問う。</p> <p>(2)12月議会に「ジェンダーの平等を求める人権差別事案の真相解明を求める請願」が出されている。2年前の令和元年の「さくらの</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				会」での出来事である。私はその当時議員ではなかったのでよく理解できないのが現状だ。9月議会での質疑であれば、ジェンダー平等の観点からも事実は究明すべきと考える。市長は、この問題を把握されているのか、今後どのような対応されていくのか問う。	
16	15	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 市長の市政運営 について 2. コロナ禍で浮き 彫りになった人権 問題への対応につ いて	(1)石飛市長で何がどう変わったのか。前に進んでいるのか、良い方向に向かっているのか。 (2)市長の考える「まちづくり」が職員に共有されているか。 (3)「市政への提案箱」が設置されたが、反応はどうか。 (4)まちづくりは、まちの良い所を伸ばし、悪い所は改善し、そして全体の底上げを図らねばならないが、市長の考えるその具体は何なのか、敷衍して説明されたい。 (1)感染者、医療従事者等への差別的言動や誹謗中傷、デマの流布、自粛警察の横行、外国人やワクチン非接種者への嫌がらせなどの人権問題にどう対処すべきか。 (2)わが国の人権問題の状況を鑑み、また21世紀は人権の世紀であり、共生社会を目指すためにも人権尊重に関する条例(例：鳥取県の人権尊重の社会づくり条例)を制定すべきではないか。 (3)コロナ禍で進学を断念したり、退学せざるを得なくなった学生が多くいる。また、大学卒業時には平均で1人320万円の借金(奨学金)を背負って社会に出ている。若者が困窮しない社会制度、仕組みづくりをしないとイケないのではないか。 (4)わが国のひとり親世帯の相対的貧困率は50%を超えており、先進国の中ではきわめて高い。コロナ禍でさらに厳しい状況にあると	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 人口減少への危機感について</p> <p>4. 当面の課題への対応について</p>	<p>思われるが、この問題にどう対処しているか。</p> <p>(1) 過疎地域接続的発展計画において、令和7年の目標人口、社会増減、合計特殊出生率が示された。希望的目標でもかまわないが、現行政策で人口減少に伴うさまざまな影響に対処・適応できるのか。</p> <p>(1) 食の幸発信推進事業は、長年の検討・議論を踏まえ実施設計まで済んでおり、この時点での中止は影響も大きく徒労感でやるせない限りだ。関係者との信頼回復、後処理は一筋縄ではいかない。これに代わる具体の農業振興策もこれからで、果たして市長の公約である農業振興で地域活性化ができるのか。</p> <p>(2) サッカー場整備についても二転三転してきているが、高校魅力化実現の施策なのか。方向性についての検討状況はどうなっており、いつ決定するのか。</p> <p>(3) 鳴り物入りで始まった中心市街地活性化事業は今年度末で計画期間が終了する。コロナ禍によりホテル建設は未着工で、2店舗が撤退された。雲南市の「商業の中心・まちの顔をつくる」ことを目的に中山間地域における、中心市街地活性化の好例を目指して取り組むはずであったが、このままでは失敗例となるのではと危惧する。専門家をまじえてハード、ソフト両面から、タガを締め直して注力すべきだ。</p> <p>(4) 人口減少で利用者増が見込めない中、トロッコ列車を更新できるか、できないかは木次線存続のまさに分岐点である。実現には大きな負担が伴うとともに方向性を出す時間的余裕もないが、どうするつもりか。</p>	